

2021年7月30日

JPR 日本パレットレンタル株式会社
農林中央金庫

グリーンローンの契約締結について

～ レンタルパレット業界初のグリーンローン～

農林中央金庫(東京都千代田区、代表理事理事長:奥和登)と、日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:加納尚美、以下「JPR」)は、レンタルパレット業界において初となるグリーンローン(1)による金銭消費貸借契約(以下「本件ローン」)を締結いたしました。

JPR は本件ローンにより調達した資金をレンタルパレットの購入に充て、環境負荷軽減ニーズの高まりなどを背景としたレンタルパレット需要の拡大に対応します。

JPR は、レンタル方式によりパレットの共同利用を可能にすることで、サプライチェーン上の多様な企業をつなぐ一貫輸送を実現しています。(現在、JPR で約 1100 万枚のパレットを運用し、年間では延べ約 4800 万枚を利用企業へ供給(2))

JPR の事業は、パレットのみならず、空パレットの共同回収網や、パレットを繰返し利用するために必要な補修整備機能も利用企業間でシェアリングできることがサービスの特徴です。

シェアリングによって、個々の企業が自社でパレットを所有・運用する場合と比較して、全体で必要となるパレット数量が低減され、循環型社会の構築に貢献しています。加えて、レンタルパレット利用を通じた輸送効率向上により、全体で 78% の CO2 削減(3)が可能となります。本件グリーンローンは、これらの環境改善効果が評価されたものです。

上記取組みに加え、JPR は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業により、保有する物流データを活用し、AI 技術で企業の定期便同士をマッチングさせるサービスを開発するなど、物流効率化および環境改善に向けた取組みを多岐にわたり展開しています。

農林中央金庫は、2019 年度よりサステナブル経営をスタートさせるなか、2021 年 4 月にグリーンローン原則等に準拠した資金用途限定の ESG ローン商品を創設し、本件ローンがその第 1 号案件となります。JPR のクリーン輸送に資する事業が、環境負荷の低減、循環型社会構築に貢献するものと評価し、JPR のパレット購入資金をグリーンローンにて対応いたします。

今般、JPR はグリーンローン原則に準拠したフレームワークを作成し、株式会社日本格付研究所の「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」において「Green1(F)」の最高評価を取得しています。また、環境省の「適応プロジェクト等のグリーンプロジェクトの活性化に向けたグリーンボンド・グリーンローン等の発行促進体制整備支援事業」にも採択されています。

【グリーンローンフレームワークの内容】

1. 資金使途

- ・ 全額パレット購入資金に充当。

2. 調達資金の管理

- ・ 借入後、所定の期間内にパレットの支払に充当される予定であり、充当までの間は現金または現金同等物にて管理。

3. レポーティング

- ・ 調達資金は借入後、所定の期間内に全額を充当予定であることを開示。
- ・ 充当状況および環境改善効果として当社が定めた内容について、当社ウェブサイト上にて、年次で開示。
- ・ 環境改善効果として、個社でパレット購入した場合と比較した資源の有効利用、CO2削減量のインパクトレポーティング実施。

【本件ローンの概要】

実行日：2021年7月30日

融資期間：6年

金額：4億円

【参考】

- ・ JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価
<https://www.jcr.co.jp/>（株式会社日本格付研究所）
 - ・ 適応プロジェクト等のグリーンプロジェクトの活性化に向けたグリーンボンド・グリーンローン等の発行促進体制整備支援事業
<https://www.env.go.jp/press/109559.html>（環境省）
- (1) 環境改善効果のある事業に必要な資金供給と、その事業の環境改善効果を評価することで、社会の持続可能性向上に向けた取組みを促進するもの。
- (2) 保有枚数及びデポ(パレットの貸出回収拠点)出庫枚数(2020年度・全機種)
- (3) CO2削減効果については、国立大学法人東京海洋大学 流通情報工学科 黒川准教授(当時)との共同研究をベースに、環境総合テクノス社(現 KANSOテクノス社)による再計算および東京海洋大学黒川教授に監修を受け算出。